

消防団だより

第49号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市行政管理部防災危機管理課内)
TEL 042・335・4068

【消防団出動件数(平成30年1月から12月まで)】
災害件数(誤報を含む) 80件
災害出動延べ人数 4,154人
その他出動(訓練など)件数 188件
その他出動(訓練など)延べ人数 3,942人

府中市消防団出初式

平成31年1月7日(月)
府中公園

新春恒例の伝統行事である府中市消防団出初式が、平成31年1月7日(月)、府中公園において大勢の市民の方々に見守られる中、盛大に挙行されました。

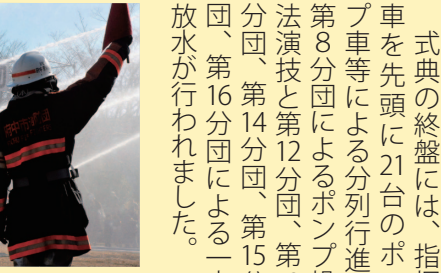
この出初式は、消防団の勇姿を市民に披露するとともに、団員にとっては、日頃からの操法訓練や規律訓練の成果を發揮し、ご臨席いただいた方々からの激励を受け、改めて地域の安全・安心のために力を尽くすことを固く誓い合う場でもあります。

式典に先立ち、22台のポンプ車等による市内パレード、また会場内では、睦消防組による伝統の木やり行進、梯子のりが行われ、観客を魅了する素晴らしい演技が披露されました。

川崎副団長による半鐘を合図に式典が始まり、表彰では高野市長から消防団歴15年の団員の方々に感謝状が授与されました。続いて、本間団長から、永年勤続表彰として消防団



ポンプ車等による市内パレード



5個分団による一斉放水

式典の終盤には、指揮車を先頭に21台のポンプ車等による分列行進、第8分団によるポンプ操法演技と第12分団、第13分団、第14分団、第15分団、第16分団による一斉放水が行われました。

歳末特別警戒

平成30年12月28日(金)30日(日)に歳末特別警戒を実施しました。

この歳末特別警戒は、毎年12月28日～30日の3日間で行い、警戒本部を府中市中央防災センターに、分所を各防災センター(分団詰所に設置し、各分団は、それぞれの警戒区域内を巡回し、地域住民の防火・防災の意識を啓発するため、の広報及び出火防止の警戒にあたり、消防ポンプ車、ホース等の機械器具及び水利等の消防施設を点検しました。



分団巡察の様子

2日間に分けて行い、各分団に対して激励のお言葉をいただきました。

広報委員長コラム

昨年は大阪、北海道での地震による災害、日本列島では台風による災害の爪痕が各所で見られました。未だ復旧に時間が掛かっている地域もあり、想像を超える自然災害の怖さを再認識しました。

私達消防団では市民の皆様へ防災意識を高めて貰おうと地域の防災訓練等に出勤して、災害にどう対応するかをお伝えしておりますが、自然災害はいつ猛威を振るうか分かりません。

市民の皆様一人一人が災害への心構えを持つことが大切です。



広報委員長 第11分団 永井 拓郎

会 長	長 本間 郁浩
副 会 長	長 副 団 長 志村 誠
廣 報 委 員 長	第 11 分 団 永 井 拓 郎
東 部 プ ロ ッ ク 長	第 5 分 団 馬 場 稔 郎
中 部 プ ロ ッ ク 長	第 17 分 団 鈴 木 祐 太
西 部 プ ロ ッ ク 長	第 13 分 団 越 智 昌 弘
東 部 広 報 委 員	第 1 分 団 榎 本 雄 一 郎
中 部 広 報 委 員	第 2 分 団 岡 田 英 世
西 部 広 報 委 員	第 3 分 団 田 代 俊 介
廣 報 委 員	第 4 分 団 河 内 大 裕
廣 報 委 員	第 6 分 団 花 田 圭 介
廣 報 委 員	第 8 分 団 加 賀 良 輔
廣 報 委 員	第 9 分 団 岡 部 貴 紀
廣 報 委 員	第 10 分 団 伊 藤 盛 敏
廣 報 委 員	第 12 分 団 原 田 賢 二
廣 報 委 員	第 14 分 団 本 間 淳
廣 報 委 員	第 15 分 団 才 丸 満
廣 報 委 員	第 16 分 団 中 村 良 信
廣 報 委 員	第 18 分 団 牛 島 徹

永年勤続者表彰

この度、平成31年の年頭を飾る消防団出初式において、多くのご来賓の皆様のご臨席の下、本間団長より20年永年勤続表彰を賜りました。

平成10年4月に入団して以来、永きに渡り消防団活動を続けてこられたのも市当局、消防署の方々、6分団の先輩や現役の皆さん、各分団の皆さん、是政の皆さん、そして活動におかせてくれる家族のおかげと大変感謝申し上げます。

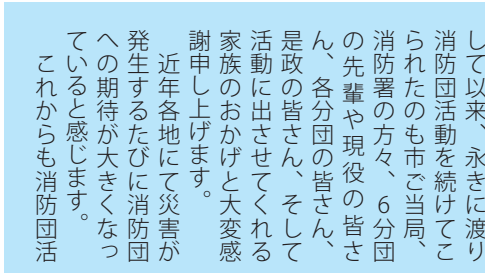
近年各地にて災害が発生するたびに消防団への期待が大きくなっていると感じます。これからも消防団活

動で培った様々な経験を活かし、府中市の防火防災に努めて参りたいと思います。

分団長 比留間康夫



睦消防組による梯子のり



また、消防団員として長年ご活躍いただき、平成30年3月末日をもって退団された方々に、総務省消防庁長官表彰が授与されました。

また、市長、都議会議員及び府中消防署長が各防災センターへの巡察を

また、市長、都議会議員及び府中消防署長が各防災センターへの巡察を



出初式にて府中消防署長より消防総監表彰の伝達を受けました

東京消防庁消防総監表彰
府中市消防団第12分団、第14分団、第15分団、第16分団、第18分団が東京消防庁消防総監表彰消防活動功労表彰を受賞しました。この表彰は、平成30年11月30日、府中市西原町で発生した建物火災での積極果敢な消防活動が認められ、表彰されたものです。

消防操法審査会

府中市消防団では、定期的に消防操法審査会を実施しています。消防操法とは、消防ポンプ車及び人員を活用して災害等を防御、軽減するため、消防団員が消火技術の向上並びに初期消火のため必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に行動できるように、基本的な操作の習得を目指すことを目的としています。

また、操法を通じ、消防活動に必要な「心・技・体」の基本を養います。

平成30年10月7日(日)に小柳町の現業事務所において消防操法審査会を実施しました。



▲「乗車！」の号令とともにいよいよポンプ車操法が始まります。



▲「ほら急げ！」操作始めの号令で各隊員が操作を開始しました。



▲第1線放水！標的を倒せ！



▲第2線延長中



▲第2線放水始め！



▲2口で放水中

ポンプ車・装備の移り変わり

府中市消防団は、平成31年度に創立65周年を迎えます。60数年の歴史の中、各分団に配備されるポンプ車や、火災現場に出動の際に装着する防火服も時代と共に移り変わってきました。

初期(昭和40年代配備)の初代ポンプ車はボンネットタイプの車両でした。当時を知る元消防団員の大先輩にお話を伺うと、冬場の出動は特に寒かったとのこと。2代目(昭和50年代配備)からは現状のポンプ車に近い形状にモデルチェンジし、3代目(平成初期配備)、4代目(平成13年頃配備)、そして現状の5代目(平成27年から更新中)と各年代でモデルチェンジされてきました。

現状の車両は、主なところでマニュアルからオートマに、カーナビゲーションシステム・バックモニターの搭載、車両後部に積載したホースカーの電動駆動式昇降、各計器のデジタル化、AEDの搭載と時代に合わせ機能も一新されています。



火災現場で団員の安全を守る防火服も時代と共に移り変わってきました。初期は刺子製の防火服で水をかぶり、しみ込ませて消化活動にあたったそうです。

現状の防火服は、様々な新素材を使用し耐熱性・強度・防水性などが進化、火災現場での活動の助けとなっています。

(1分団所蔵の刺子製防火服→銀色の防火服→現状の新素材製の防火服)

第5分団 広報委員 馬場 稔郎



互助会事業

毎年、健康増進や分団の団結力を高めるため、ソフトボール大会や健康増進大運動会を行っています。また、日頃から消防団員を支えている家族も楽しめるような事業を実施しています。

本年度の健康増進大運動会は平成30年10月14日(日)、市民陸上競技場で開催され、消防団員とその家族、また消防署からも1チームが出場し、明るい雰囲気の中で熱戦が繰り広げられました。

【総合】
優勝 第7分団
準優勝 第8分団
第3位 第11分団

【600mリレー決勝】
第1位 消防署
第2位 第7分団
第3位 第10分団



府中市水害ハザードマップ

府中市水害ハザードマップは、国土交通省が公表している「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。

あらかじめ避難方法や避難場所を確認しておき、いざという時に役立ててください。

府中市水害ハザードマップ

右記の二次元コードを読み取るとホームページにアクセスします。
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bosaibohan/saigai/2017suigaimappu.html>

